

と き：2024年10月9日(水)
15:00~15:30

と ころ：JRタワー1階西コンコース
「妙夢」前

演奏者：能登谷 安紀子 (ヴァイオリン)
高木 和弘 (ヴァイオリン)

曲 目：・ヴィエニャフスキ作曲 エチュードカプリス Op.18から
・クライスラー作曲/能登谷安紀子編曲 愛の悲しみ
・能登谷安紀子作曲 『Fantasy』 for 2violins
・能登谷安紀子作曲 『もみじ変奏曲』 for 2violins
ほか

※曲目は変更になる場合がございます。

主 催：札幌駅総合開発(株)

無料で聴くことができます
(席のご用意はしておりません)



JR TOWER
MYOMU
CONCERT

第179回 JRTOWER

妙夢コンサート

第179回 JR TOWER

妙夢コンサート



ヴァイオリニストの作品と、能登谷安紀子自作曲を演奏します。

『もみじ変奏曲』は、秋の情景と共に様々な表情を見せる紅葉を、ヴァイオリンの多彩な技巧を取り入れ描写した作品。曲の最後は「もーみーじっ」と歌うようなピッツィカート。

『Fantasy』は、ヴァイオリン二重奏による、美しく不思議な世界を表現した、秋の新曲です。初秋の午後、ヴァイオリンデュオの魅力をお楽しみください。



能登谷 安紀子 Akiko NOTOYA (ヴァイオリン)

東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業。東京藝術大学大学院修了。Pacific Music Festival (PMF) 修了生。北海道文化財団HAFアーティスト。弦楽四重奏団「クアルテット・ポッポ」第1ヴァイオリン奏者。

ヴァイオリン、ピアノ、オルガン、声楽を学ぶ。幅広いレパートリーのヴァイオリン演奏に加え、ヴァイオリンの技巧を生かした曲や北海道の自然をテーマにした曲を作曲。ソロ、室内楽、オーケストラ演奏、作曲・編曲活動等各地で活動。

CD『能登谷安紀子作品集~Akiko Notoya plays Akiko Notoya~』I・II制作。



高木 和弘 Kazuhiro TAKAGI (ヴァイオリン)

6歳よりヴァイオリンを始め、国内外で数々のコンクールに優勝及び入賞を果たす。

主な賞歴としては1997年度ブリュッセルで行われたエリザベート王妃国際コンクール入賞、1998年ジュネーヴ国際コンクール第3位(1位なし)などが挙げられる。

国内では、2005年度文化庁芸術祭新人賞、大阪文化祭賞大賞受賞、2007年度第19回ミュージック・ベンクラブ音楽賞オーディオ部門録音作品賞を受賞と、その芸術家としての認知と評価も非常に高い。国内外のオーケストラとのソリストとしてもこれまで大阪フィルハーモニー、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー、日本センチュリー交響楽団、東京交響楽団、ベトナム国立響、ヴェルテンベルグ・フィルハーモニーなどの共演も多数。

これまでに和波孝禧、森悠子、エドワード・ウルフソン、エドワード・シュミーターの各氏に師事。現在、神戸市室内管弦楽団首席コンサートマスター、シアターオーケストラトウキョウゲストコンサートマスター、長岡京室内アンサンブルメンバー、グラス室内交響楽団コンサートマスター(グラス、アメリカ)、いずみシンフォニエッタ大阪メンバー、A Hundred Birds のヴァイオリニストとしても演奏活動を展開中。使用楽器は株式会社シーエスコポレーションエイフクより貸与された1739年製サント・セラフィンである。